

| | | | |
|-----|------|-------|-------|
| 科目名 | 英語 A | 科目コード | 20500 |
|-----|------|-------|-------|

| | |
|----------|--------------------------|
| 学科名・学年 | 全学科・5年（プログラム2年） |
| 担当教員 | 河田 重雄（非常勤講師） |
| 区分・単位数 | 履修単位科目・選択・2単位 |
| 開講時期・時間数 | 通年，60時間【内訳：講義58，その他2】 |
| 教科書 | Different Realities（南雲堂） |
| 補助教材 | 編入試験過去問題、文法問題 handout |
| 参考書 | 英和辞典のみ |

【A．科目の概要と関連性】

- (1) 長文を用いて、文法の基礎及び語彙を理屈で理解する
- (2) 音読により、身体で英語を理解する
- (3) 会話にも使える自然な英語表現を身につける

関連する科目：英語（1～3学年履修），英語（1・2学年履修），英語（前年度履修）

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は、長岡高専の学習・教育目標の（B）と主体的に拘わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

| 到達目標 | 評価の重み | 学習・教育目標との関連 |
|-------------------------|-------|-------------|
| 英検準2級程度のテストなら8割以上正解にできる | 50% | b3 |
| 正しい発音とイントネーションで音読できる | 30% | b3 |
| 英語の慣用表現を身につける | 20% | b3 |

【C．履修上の注意】

- (1) プリントは毎回、自分で用意した「B5 クリアファイル」に入れておく。
- (2) 予習よりも復習を重視する。
- (3) テストには授業で見なかった英文を使用するので、授業の内容やプリントは暗記するのではなく、理解しなければならない。
- (4) 日ごろからCDやDVD教材で、できるだけ生の英語に触れることを望む。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（60%）【内訳：前期末25，後期末35】
- 音読テスト（20%）【内訳：前期10，後期10 各一回】
- 課題英作文（10%）
- その他（10%）【授業への参加・発言など】

【E . 授業計画・内容】

前期

| 回 | 内容 | 備考 |
|----|--------------|----------|
| 1 | テキスト第一課 | |
| 2 | 第一課、編入試験過去問題 | |
| 3 | 第一課、過去問題 | |
| 4 | 第二課、過去問題 | |
| 5 | 第二課、過去問題 | |
| 6 | 第二課、過去問題 | |
| 7 | 第三課、過去問題 | |
| 8 | 第三課、過去問題 | |
| 9 | 第三課、過去問題 | |
| 10 | 第四課、過去問題 | |
| 11 | 第四課、過去問題 | |
| 12 | 第四課、過去問題 | |
| 13 | 第五課、過去問題 | |
| 14 | 第五課、過去問題 | |
| - | 前期試験 | 試験時間：50分 |
| 15 | テスト解説、第五課 | |

後期

| 回 | 内容 | 備考 |
|----|---------|----------|
| 1 | 第六課 | |
| 2 | 第六課 | |
| 3 | 第七課 | |
| 4 | 第七課 | |
| 5 | 第八課 | |
| 6 | 第八課 | |
| 7 | 第九課 | |
| 8 | 第九課 | |
| 9 | 第十課 | |
| 10 | 第十課 | |
| 11 | 第十一課 | |
| 12 | 第十一課 | |
| 13 | 第十二課 | |
| 14 | 第十二課 | |
| - | 後期末試験 | 試験時間：50分 |
| 15 | 試験解説と補習 | |